

岩手県職労

月2回刊=1597号
2022年3月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

2022 春闘勝利!

人員確保・労働条件要求等柱に方針確立 =職場改善に向け全職員の組合加入で職場要求を=

緊急災害時に着実に遂行できる体制整備が重要

3月5日、県職連合第31回・県職労第127回臨時大会を開催し、全世代が実感できる賃金・諸手当改善、会計年度任用職員を含めた人員確保・超勤課題の改善、コロナ、鳥インフルなど災害時における労働条件の確保、重点課題である組織強化・拡大の新採用職員加入の取り組み、7月参議院選挙比例代表「鬼木まこと」、選挙区「木戸口英司」勝利に向け、春闘方針を確立し意思統一をはかった。

開会に当たり、大崎中央 増している。保健所をはじめ執行委員長は「コロナもオミクロン株で感染者数が激増している。保健所をはじめ昼夜問わずの対応に感謝申し上げたい。



▲県職連合31回・県職労127回臨時大会

鳥インフルエンザも24時間体制の交代勤務となった。県内初であり、現地での準備も十分されず、働き方や処遇面も事前に把握できないまま従事した。課題も随時人事課に申し入れし、対応を求めたところ。今後、引き続き非常に時に備え、状況

今野善文さん 連合岩手副事務局長へ



▶決意を述べる今野善文さん
(2・26 県本部中央委員会)

2022年4月から今野善文さん(気仙支部・58歳)が連合岩手副事務局長に就任することが決まった。役員派遣に関しては、自治労から県職労に対して派遣要請があったもの。

今野善文さんは、1990年度をスタートとして県職労中央執行委員14期、副中央執行委員長2期を務めた。そのうち、2006年度から2年間は連合岩手副事務局長を務めた経歴を有する。

2月26日県本部第47回中央委員会で役員派遣が決定され、3月5日県職労臨時大会で連合岩手副事務局長への派遣を確認した。

今野さんは県職員を辞して連合運動の重要な役割を担う。県職労も連合に加盟する単組として今野さんの運動を支えていく。



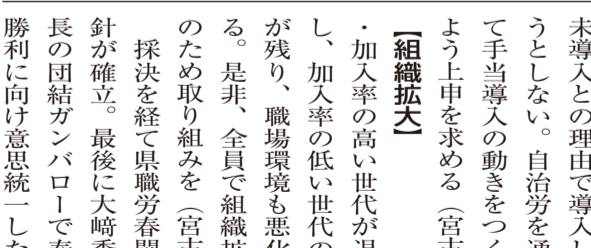
▲6人の代議員から補強発言を受け、春闘方針を確立した

確認し、県職労としてもしっかりと対応したい。ロシアのウクライナ侵攻に関して、軍事力による紛争解決は多くの犠牲を伴う。そこに政治の力が大きく関わる。参議院選挙をはじめ各級選挙も控えている。安心して暮らせる社会・平和の実現に向け、県職労が推薦する政治家を国政へ送り出していきたい。

春闘では、民間労働組合が賃金要求等を行い、4月からの労働条件を決定する。この20年、物価上昇も相まって実質賃金は下がり続けている。生活改善していくためにも、しっかりと賃金要求することが重要である。組織強化について、この10年で職場状況も変わってきた。その一つに会計年度任用職員が予算を理由に切り捨てられ、任期付職員も大幅に減っている。しかし多くの職場では人員不足が報告されている。個々の職場事情を確認しながら人員要求を進めるためにも多くの組合員が必要である。各支部で新採対策会議を展開し、加入促進に努めていただきたい。代議員の多くの発言をいただきながら、方針確立をしていきたい」とあいさつ。



▲挨拶をする新役員(左から佐々木(真)書記長、小田嶋委員長、須藤中執)



▲2022春闘勝利に向けて団結ガバロー

その後、春闘方針等を提起し、6人の代議員から職場実態を踏まえた補強発言を受け、春闘方針は採択された。3月9日、当局へ「春闘要求書」を提出し、職員が実感できる改善策を求め全力で取り組む。

代議員の主な発言は次のとおり。

【職場改善】在宅勤務が進められ、職場のノートPCで業務を行う場合、地域によっては電波状況が悪く、業務に支障をきたしているため、改善が必要である(一関)。

・鳥インフル対応では、合庁から現地まで長時間要しても勤務時間とならない。職員からすれば、拘束時間も勤務時間とみなすべきことは自然なこと。しっかりと改善要求を(花巻)。

・ノートPC導入により、周辺設備が整わず自己負担を強いられている実態がある。業務で行う備品は公費で準備すべき(花巻)。

【人員確保】保健所職場では、コロナ発生前から恒常的に人員不足である。現場では2時間しか睡眠できていない職員もあり、しっかりと定数増が必要(花巻)。

任期付職員の任期の定めのない職員への選考採用の拡大を(釜石)。

・会計年度任用職員の任用満了に伴う就職支援など上部団体へ求めるべき(釜石)。

【通勤手当】ガソリン価格が高く長距離

【諸手当改善】県営アパートの管理業務は家賃滞納徴収、入居者の相談対応などつらいが、特殊勤務手当が無い。他県が未導入との理由で導入しようとしていない。自治労を通じて手当導入の動きをつくるよう上申を求める(宮古)。

【組織拡大】加入率の高い世代が退職し、加入率の低い世代のみが残る。是非、全員で組織拡大のため取り組みを(宮古)。

採決を経て県職労春闘方針が確立。最後に大崎委員長が団結ガバローで春闘勝利に向け意思統一した。



竹花 くにひこ (立憲民主党・現・70歳)

宮古市議選 予定候補者 竹花くにひこ

県職労は、4月17日告示・24日投票開票予定の宮古市議会議員選挙(定数22人)に「竹花くにひこ」さん(70歳・現5期・立憲民主党)を推薦決定した。

竹花くにひこさんは、宮古市職労出身の自治労組織内議員。「ひたすらにひたむきに」をモットーに、東日本大震災からの復興とまちづくりなど精力的に議員活動を展開してきました。平和・自由・平等・共生の市政の実現に向け、皆さんの御支持をお願いする。

第五世代

3月は新年度へ向けた準備が進められる時期だ。また、4月に就職・就学する子を持つ組合員も少なくない。新生活も間もなくスタートだ。私が公務員になる際は、給料や休暇など特に意識せず、公務員になるためだけに勉強をし、試験を受け入庁を果たした。今思えば自分の働き方については全く考えていなかった。私は新採用時に職場の先輩から組合に誘われ、加入しそこから働き方や職場環境について目を向けるようになった▼子の就職活動を見ていく中で、改めて労働組合のある安心感の大きさに気付かされている。求人を見てみると固定残業代支給(40時間分含み)のような記載も多く、残業が前提となっている企業もある。最近人材紹介の求人が多く、どこかの企業でも人員不足があること、転職する人が増えていることが分かる。相談できる労働組合があれば、職場の問題で転職を考えなくても済むかもしれない▼新採用は仕事のこと、人を覚えることで一生懸命だ。だからこそ、丁寧に労働組合が仕事面以外の働くことについてサポートできることを伝えながら、県職労の仲間を増やせるよう取り組みを進めよう。

3.9春闘人事課総括課長交渉

災害時見据えた人員体制急務

人事異動

感染時は柔軟な対応可を確認

3月9日、県職労は知事に対する22春闘要求書を加藤人事課長に提出し、次年度の人員配置、超勤課題をはじめ、秋の確定闘争からの継続課題など当局の姿勢を質すため交渉を行った。



▲継続課題について回答を求める県職労執行部

【賃金水準】

「人事委員会勧告に基づき制度設計している。コロナ対応の防疫作業手当増額などモチベーション確保も行っている。人事委員会と引き続き意見交換していきたい」と回答。コロナや鳥インフルなど災害時でも安心して対応できる賃金・労働条件確保は不可欠。全ての職員が勤務意欲を持てるよう取り組みを進めていく。

【諸手当】

ガソリン価格高騰に「昨今、高止まりの傾向だが、1年間の平均価格による手当カバー率は、支給限度額区分(90km以上)でも100%を超え、現時点でカバーできていない状況」とどまった。改善を求める声は多い。手当額引上げを強く求めている。

【人員配置】

「新採用は150人規模。再任用職員は原則希望者全員を再任用とし、新規40人更新98人の計138人。欠員は本年度並(15人程度)」と回答。「会計年度任用職



▲回答する加藤人事課長(手前)

員数は知事部局129人減の1,806人。震災分の公共事業費減に伴う任用数減」とした。交渉団から欠員や非常災害時対応を踏まえた人員確保を強く求めた。

【超勤課題】

次年度当初予算として人事管理費は約4億6千万円を確認。予算不足を理由に超勤命令を行わない事案もある。予算の適正配分と管理者への指導を強く求めた。

【人事異動】

着任7日間の保障と早期着任を強要させないこと、コロナを踏まえた柔軟な対応も可能である旨確認した。

【鳥インフルでの労働条件】

対応職員の労働条件への不満を訴え「移動時間への配慮や休憩時間を十分加味できなかった部分や一部物品の不足など、労働安全衛生上の課題もあった。今回の業務実態を踏まえ、職員

の過度な負担とならないシフト等、労働安全衛生の確保策を検討」とした。

【病気休暇の通算期間見直し】
近年、メンタル不調の増加を踏まえ、職員の健康維持・推進や安全管理の適正化の観点から、治療に専念できる病気休暇・休職制度に見直し、4月から運用する見解が示された。

主な見直しは、病気休暇等の通算対象を「現行2週間以上引き続く病気休暇から、原則すべて通算」するもの。定期的な通院(人工透析など)、復帰後の軽動

務は通算対象外とする。県職労交渉団は、すべて通算されることで却って病気休暇を取得しづらい状況になると指摘。職員加配など職場体制改善が先と訴え、受け入れがたい制度と主張。当局は人事課協議との例外規定を設け、個別判断の余地を残すとし見直し姿勢に終始した。今後、運用面の課題も残ることから継続して改善を求めていく。

【今後の取り組み】
当局回答は極めて不十分。県職労は、22春闘を皮切りに、秋の確定闘争に向けて、



▲新たな決意を語る佐々木ゆみ子さん

佐々木ゆみ子 初当選

久慈市長 遠藤じょうじも「再選」

奥州市議選

2月27日告示の奥州市議会議員選挙に当たり、県職労は「佐々木ゆみ子」さん(58歳・新人・無所属・岩教組出身)を推薦決定し、当選に向けて支持浸透を進めていた。定数28人に対して、定数内での立候補となつた結果、無投票で初当選を果たした。佐々木ゆみ子

さんは「人と地域がやさしく笑顔につながるまちづくり」の実現をめざすと決意を新たにしました。

3月6日告示の久慈市長選挙では、「遠藤じょうじ」(68歳・現2期・無所属・県職員退職者会久慈支部長)の推薦を決定した。久慈市長選挙では他の立候補者がなく、無投票で再選を果たした。遠藤さんは「これまでの経験を踏まえ、子どもたちに誇れる久慈をめざす」と決意を表明した。



▲再選を果たし笑顔の遠藤じょうじさん

県職労では、両氏の活躍を期待するとともに、地方自治確立に向け、参議院選挙をはじめ、各級選挙闘争の勝利に全力を挙げていく。

2022 新採用加入対策会議

新採用加入に向けて意思統一

=一人ひとりが心構えを持って!! =



▲花巻支部での新採用加入対策会議の様子

2022新採用加入に向け、各支部では新採用加入対策会議が開催されている。支部の取り組みを紹介する。

【花巻支部】
3月1日に花巻、2日に遠野での対策会議を開催。花巻では、支部の取り組みや成果を共有し、組合の必要性について確認した後、加入の声かけに向けて意見交換を行った。青婦部員からは、「保険のことが分からず、助けを求めらうと思

つて加入した」「社会に出て不安だったから入った」「これまでどおりの声かけでよいと思うが、保険のことは、もっと早く教えてほしい」といった声寄せられた。先輩組合員からは、「チームに組合員がいらない場合はどう声かけしたらよいか」と悩む声も出された。

【釜石支部】
3月3日第1回の対策会議を開催。今回はグループを2つに分け、グループワーク形式で討論を行った。組合ハンドブックのQ&A



▲釜石支部での新採用加入対策会議の様子

「自分ならどう組合をアピールするか」を一人ひとり発言。参加者からは「職場で困っていることや理不尽だと思うことを上司や同期に相談しても解決につながることがあまりないが、組合に相談すれば、本部に声が届き、解決につながる」「自分を守ってくれる、自

分の権利を守るために組合がある」等が挙げられた。現在、各支部でも対策会議が開催され、新採用加入対策が本格化する。

【4月に向けて】
いよいよ、定期人事異動内示が行われ、新採用が配属される職場も明らかに。新採用職員の加入に向け、具体的な役割分担、新採用加入説明会の準備を進めるようお願いします。

各職場における安全衛生の課題、取り組みに係るスローガンを募集します。

●応募(テーマ)
「安全分野」と「衛生分野」どちらかみの応募も可能で、応募数は各分野一人3点まで。

●締切 4月5日(火)

●審査 締切後、自治労本部総合労働局で審査し、入

選には2022年度安全衛生ポスターに採用し、ステッカーに名前を掲載します。

●記念品
入選・図書カード1万円
佳作・図書カード3千円を呈呈します。

●応募方法 各支部書記局に、スローガン、職場・氏名を記入した応募用紙を提出してください。

安全衛生月間スローガン募集

新年号クイズ
当選者発表

特別賞 米倉 崇行さん
(奥州市支部・農林部課長)

県職労新年号クイズ応募者の抽選会が3月5日開催の県職労第127回臨時大会で行われた。

当選者は次のとおり。

【特別賞】
《全国共通》券(20,000円)
米倉 崇行(奥州市支部農林課長)

- 【支部応援賞】
- 花巻支部賞 (シンズカシとわのびのセット)
 - 北林 健(岩手県支部・林務部)
 - 北上支部賞(ロイヤルキー)
 - 佐藤 真澄(花巻支部・花巻健康福祉センター)
 - 胆江支部賞 (奥州市支部・米沢町農林課)
 - 工藤 秀誠(奥州市支部・財政課)
 - 一関支部賞 (奥州市支部・農林課)
 - 久松 暢子(盛岡支部・岩手県衛生検査所)
- 【図書カード】
- 岩間 吉広(奥州市支部・財政課)
 - 久慈 敏(盛岡支部・林務部)
 - 加賀 克昌(盛岡支部・内水面水産センター)
 - 飯坂 覚(盛岡支部・薬技術短期大学校)
 - 富田 典子(盛岡支部・農政部)
 - 山口 貴之(北上支部・岩手県農研センター)
 - 細越 健志(宮城支部・高松農林部)
 - 田島 大(釜石支部・農林部)
 - 伊東 雄一(久慈支部・林務部)
 - 刈屋 亨(盛岡支部・林務部)